参考資料１

# 第 18 回富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の意見とその対応

１　日　時　　令和７年 10 月６日（月）10：00～11：30

２　場　所　　富山県民会館８階バンケットホール

３　内　容

（１）議　事

ア　富山県食品ロス削減推進計画の見直し（計画案）について

エ　意見交換

４　主な意見の概要

| 委員意見 | 対応等 |
|---|---|
| ＜食品ロス全般＞ | |
| ・食品ロス削減の取り組みをさらに推進していくには、自治体、事業者、消費者の連携や共創が重要であり、地域連携の強化も取り組みの幅を広げるうえで重要ではないか。 | ・現在、市町村担当者会議の開催や各団体等へのヒアリング、事業者と連携した食品ロス削減の啓発等を行っております。今後ますます連携を強化し様々な取り組みを行いたく、皆様におかれましてもご協力のほどよろしくお願いいたします。 |
| ・ただ食品ロスを PR し、呼び掛けるだけではなく食品ロス削減活動におけるインセンティブなどにも着目するなど、より実践的な取り組みも行ってほしい。 | ・事業者に対しては、「食べきり 3015 運動」・「食べきりサイズメニュー」の R⑧新規導入店舗に対し、Google プロフィールの設定サポートや情報誌への掲載といった特典を設けております。食品ロスの削減によるメリットの発信とあわせ、より活動に参加したくなる手法を検討してまいります。 |
| ・SNS を用いた食品ロス削減の啓発についても閲覧数などにも着目して効果的に進めると良いと思う。 | ・令和４年に開設した Instagram アカウントのフォロワー数は 227 人（R8.9 時点）となっております。また、環境政策課にて令和７年度に作成した YouTube ショート動画３本の再生数はいずれも３万回以上となっています。引き続き、より多くの方に情報が届くよう、効果的な発信に努めます。 |

| | |
|---|---|
| ・富山県食品ロス削減推進計画のハンドブックは非常に良い内容のため電子データによる利用等もさせてほしい。 | ・食ロスゼロ作戦ホームページにて電子データを掲載していますので、ぜひご活用ください。 |
| ＜家庭系食品ロス＞<br>・若い世代に食品ロスの取り組みを伝え、実効性を上げていくことが課題の１つではないだろうか。<br><br>・フードドライブの普及は進んでいるが、サルベージ・パーティーについてはなかなか普及が進んでいない。 | ・食品ロス問題の認知及び具体的な削減行動を訴求する啓発動画を作成し、特に若い世代（主に 20～40 代）を対象に YouTube にデジタル広告による情報発信を行っています（食ロス削減推進月間を中心とし９～11 月に配信）。<br>・食品スーパーの食材売り場において、食材の保存方法、レシピ等の生活に役立つ情報と併せて県の特設ウェブサイト及び啓発動画視聴に誘導する名刺サイズのカードを設置し、買い物客に啓発しています。<br>・環境フェア等のイベントにおいて、親子連れを含む幅広い世代の県民に対し県の特設ウェブサイトに誘導する啓発資材（シール）を作成し配布します。<br>・とやま環境未来チャレンジ事業（県内の小学４年生が、家族とともに家庭で食品ロス削減を含む地球温暖化対策に取り組む事業）等の環境学習を通じ、児童だけでなくその家族に対しても取組みの実践を促します。<br>・とやま環境財団と連携し、サルベージ・パーティーの企画・進行を行う「サルベージ・サポーター」と、開催を希望する団体等とのマッチングについて、求めに応じて支援する体制を整えています。（R7：２件） |

| | |
|---|---|
| ＜事業系食品ロス＞<br>・SNS を用いた食品寄付のマッチングシステムも実装出来たらよいのではないか。<br><br>・リサイクルループのような事例を利用して食品廃棄物の資源化についても進めていけるとよい。 | ・フードシェアリングサービス（まだ食べられるのに廃棄される食品を消費者に提供するサービス）の導入意向調査を進めております。<br>・食品廃棄物の資源化の事例として、とやま和牛酒粕育ち（酒粕の飼料化）や株式会社シテン（規格外スプラウトの飼料化）等がございます。県庁関係課や各団体と連携し、先行事例の周知・取組みの強化に努めてまいります。 |
| ＜富山県食品ロス・食品廃棄物削減活動表彰について＞<br>・ただ表彰するだけではなく、表彰者をしっかりと新聞などで紹介するとともに、富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議でも発表の場を設けるなど、様々な公開の場で発表する機会を作る必要があるのではないか。 | ・第 19 回県民会議では、受賞団体である株式会社シテン様に講演いただきます。また、受賞団体の取組みを SNS 等で積極的に積極的に発信し、優れた事例の周知を図ります。 |
| ＜富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議について＞<br>・崎田先生や牛久保先生からの講演などがあっても良いのではないか。 | ・第 19 回県民会議では受賞団体に講演いただきますが、今後は特別委員の先生方に講演いただくことについても検討します。実りのある会議となるよう、改善を進めてまいります。 |